

# 液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

## 寒剤供給価格等の変更

先日行われた低温委員会において、液体ヘリウム価格の見直しが議論されました。その結果、回収率の維持、諸般の事情により、5月使用分から液体ヘリウムの価格を20円/L引き下げることになりました。

液体ヘリウム価格	所内	200円/L	→	180円/L
	所外	220円/L	→	200円/L

ただし、今後の原料ガスの価格高騰やヘリウムガス回収率の著しい低下などが起きた場合には、値上げすることもあります。引き続き回収率の低下や回収ガス純度の低下には、ご注意ください。

また、第138号でお知らせしたヘリウムボンベ(47L、99.99%)の供給価格に間違いがありましたので、訂正いたします。

誤) 8,302円/本 → 正) 8,309円/本

なお、5月分から正しい価格での課金となります。

## 液体ヘリウム容器の取扱(ヘッド部分)

液体ヘリウム容器上部には、ヘリウムの回収、トランスファーチューブの挿入などを行う為に容器ヘッドと呼んでいる物に取り付けられている(構造は写真参照)。今回はこの部分に着目し、ユーザーがよくする間違いの一部を紹介する。

- 1) 開いているべきバルブが閉まっている
- 2) 閉まっているべきバルブが開いている
- 3) ウィルソンシール部の栓がない
- 4) クイックカプラの接続が中途半端

これらの間違いは、閉塞による容器内圧の上昇(最悪の場合破裂)、Heガスの大気放出といったトラブルの元であるので、しっかり覚えて安全・確実な取扱いをして欲しい。

また、このようなトラブルを防ぐ為に、持出や返却の際にはバルブ操作が要らない構造(クイックカプラ)となっているので、不必要にバルブの操作をせず、バルブや接続等をしっかり確認して欲しい。



**※安全弁の可動部は、絶対に固定しないこと!**